

# 一人の子どもも取り残さない

大町市立大町西小学校【児童数 250 名（R6.4 時点）井口博司校長】は、学校教育目標に「自ら学ぶ 友と学ぶ 仁科の里に学ぶ」を掲げ、日々の学校経営を進めています。

12 月 16 日に学校運営協議会にお邪魔しました。学校支援ボランティアや保護者、大町市教委、学校関係者、約 20 名で学校自己評価をもとに学校再編に関わるテーマで熟議をしました。大町西小学校は学校再編により、令和 8 年度から大町北部小学校となります。

はじめに学校自己評価について、重点「まなびづくり」・「なかまづくり」の視点から、研究副主任、教務主任の各先生から説明がありました。研究副主任の先生からは、自分の思考の流れを自分の言葉で記述したマインドマップを用いた授業の取組を紹介。振り返りの場で「問い」に対する意見や気づき、疑問を自分の言葉で書くことにより、自己調整学習力を育てていきたいと語っていました。また、教務主任の先生からは、仲間との間で育まれる自己有用感について説明。心の土台を育む観点から、教職員からの「肥え(声)がけ」を一人一人に届けている取組を紹介しました。



次に 3 つにグループに分かれ、「閉校に向けて子どもたちのために学校・家庭・地域にできること」をテーマに熟議をしました。学校と家庭・地域で子どもの尊厳を守ることを中心に、子どもの想いを大切に、明るく前向きな閉校記念イベントの企画や、西小愛を育むための桜のライトアップや廃材となる床板の配布といったアイデアが出されました。また、子どもたちの不安に寄り添い、心を支えるための学校再編を経験した保護者の話を聞く機会や親子対話マニュアルの作成、子どもを目を見て話すことを学校と地域で改めて確認する機会をとるなどの意見が出ました。

席上、井口校長先生は教育理念「一人ひとりの輝きを認め合う学校」に寄せ、学校自己評価の結果に見られる否定的・悲観的な内容を踏まえ、「まなびづくり・なかまづくり」の重点に沿って、その改善のための学校としての取組の方向を丁寧に説明していました。これは第 4 次長野県教育振興基本計画の柱の一つ「一人の子どもも取り残されない『多様性を包み込む』学びの環境をつくる」に直結するものとして見習い、大切にしたいことだと思いました。

**目指す姿**  
学びの成果が生きる生涯学習  
～人がつながり、学び合う豊かな地域づくり～



**重点目標**  
【社会教育】  
「地域と共にある学校づくり」「地域づくり」「人づくり」を支援する  
【社会人権教育】  
「一人一人が大切にされる地域づくり」支援  
【生涯スポーツ振興】  
「生涯を通じたスポーツを【する・みる・ささえる・知る】機会づくり」支援

令和 6 年 12 月 25 日

長野県教育委員会事務局  
中信教育事務所生涯学習課  
**学校訪問だより【24】**

〒390-0852  
長野県松本市島立 1020 松本合同庁舎内  
TEL 0263-40-1977 FAX 0263-47-7840